

議会だより

No. 122
2023.11.1 発行



表紙の作品

第4回観光協会観光フォトグランプリより

題名『イチョウがいっぱい!! 楽しいね!!』

まるで黄金の絨毯のようなイチョウの葉っぱに大喜び。笑顔が溢れた息子を撮影しました。

撮影者 二宮 亜理沙さん
撮影場所 大類グラウンド

2P~3P 令和4年度決算・主な事業

4P~5P 決算の主な質疑・討論

6P~8P 9月議会ではこんなことが決まりました

9P~15P 一般質問13人が登壇

もろやま

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

発行/毛呂山町議会 編集/毛呂山町議会だより編集委員会

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地

☎049-295-2112

バックナンバーはこちらです⇒



◎議会だよりは議員の自主編集により発行しています。

9月定例会

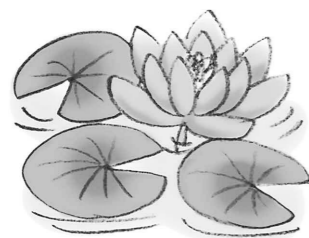
令和5年9月定例会は9月1日から20日までの20日間の会期で開催されました。今定例会に提案された案件は、条例の一部改正2件、補正予算4件、決算認定6件、利益剰余金の処分1件、町道路線の廃止1件、路線の認定1件、人事1件、報告2件、発議1件が上程され慎重な審議が行われました。一般質問は13名の議員が登壇し、活発な質問が展開されました。

教育費

- ・小中学校体育館内Wi-Fi環境整備業務委託料 319万円
- ・小中学校消毒清掃サポート業務委託料 1,384万円
- ・中央公民館外壁等改修工事 2,983万円等

商工費

- ・総合公園蓮池整備工事 188万円
- ・商工会シールラリー補助金 120万円等



土木費

- ・地域商社事業推進補助金 2,600万円等 (毛呂山町ビジネスコンテスト)

水道費

- ・水道基本料金無償化事業 4,135万円等

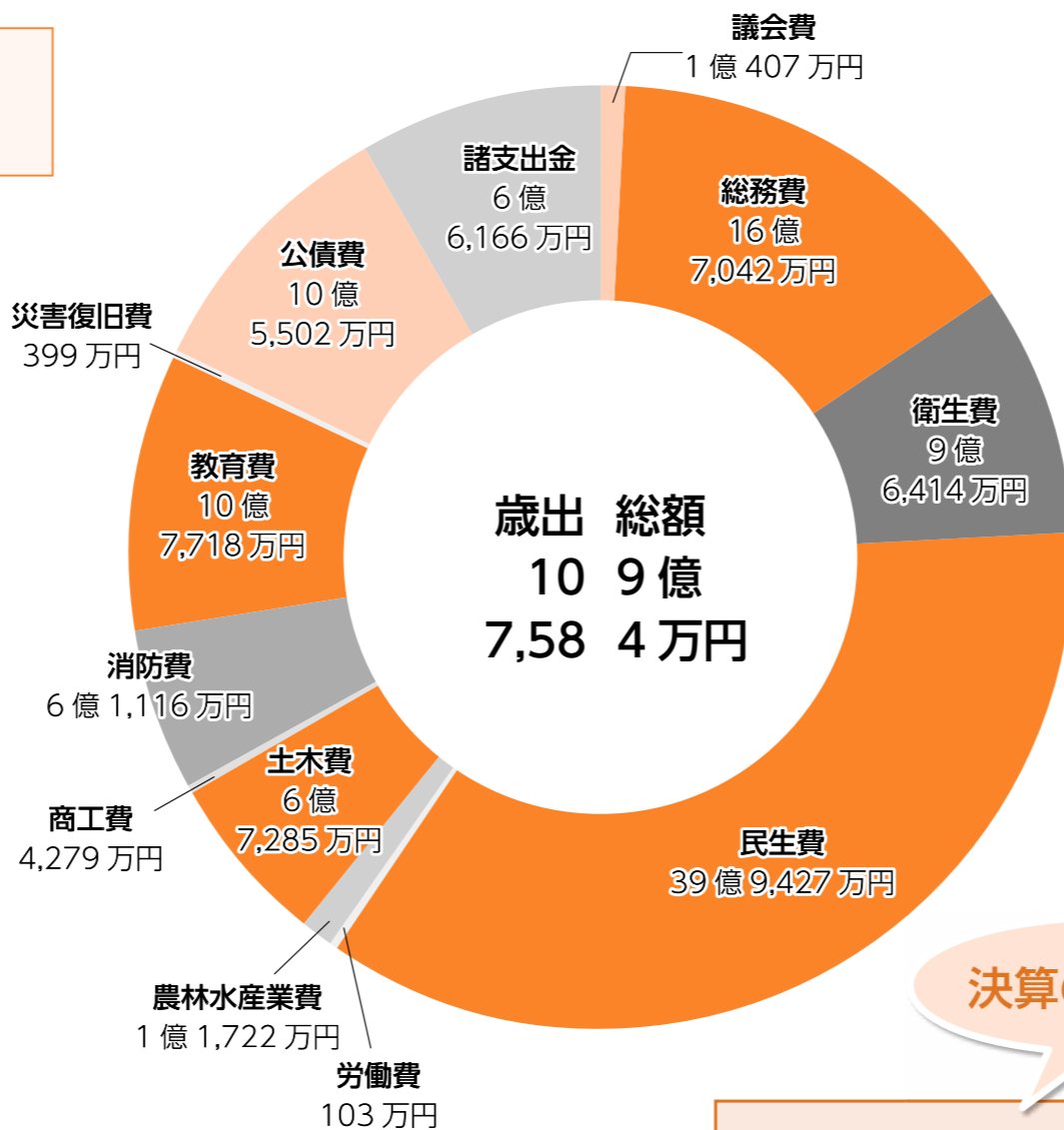
令和4年度決算 貴重な税の主な使い道

総務費

- ・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 2億635万円
- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 8,500万円
- ・町内循環バス運行経費補償金 2,481万円
- ・毛呂山町未来応援奨学金返還支援補助金 370万円
- ・親と一緒に子育て応援事業補助金 234万円等

民生・衛生費

- ・ひとり暮らし等高齢者緊急通報システム委託料 123万円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種委託料 8,043万円
- ・介護保険特別会計繰出金 3億9,651万円等

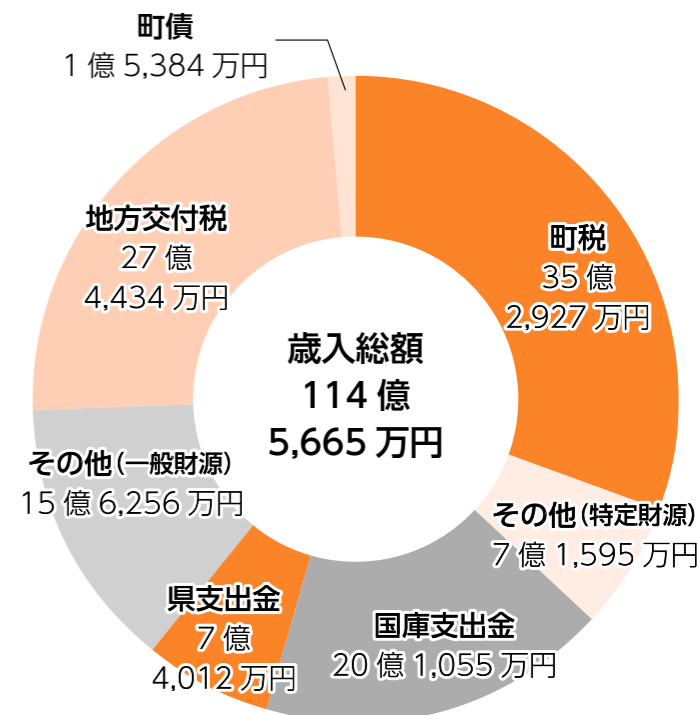


決算のポイント

令和4年度における歳入総額は前年度に比べ1.9%減の114億5,665万円となり、歳出総額は前年度に比べ2.3%減の109億7,584万円でした。

財政力指数は0.593、財政構造の弾力性を示す財政指数については経常収支比率91.9%と前年度対比3.7ポイント悪化しました。つまり町独自の事業などにあてる余裕が僅かである事を示します。

一方で、実質公債費比率は8.4%と前年度対比0.2ポイント減少していますが、依然として厳しい財政状況にあることが見えてきます。



※経常収支比率とは？
扶助費（児童手当やこども・重度心身障害者の医療費などに使う経費）など毎年かかる固定費の割合。数値が低いほど政策的に使えるお金が多くなります。

※実質公債費比率とは？
一般会計が負担する借金返済費用の割合。数値が高いほど他の事業にあてる財源を圧迫することになります。

※財政力指数とは？
数値が1に近く、1を超えるほど財源に余裕があることとなります。

※グラフや表は万円未満を切り捨てのため総額が一致しないことがあります。

特別会計別の決算	歳入	歳出	歳入歳出差引額	
国民健康保険特別会計	41億1,165万円	40億986万円	1億179万円	
水道事業会計	収益的収支	8億8,015万円	7億2,204万円	1億5,810万円
	資本的収支	1億4,084万円	4億2,411万円	▲2億8,327万円
農業集落排水事業特別会計	3,839万円	3,204万円	634万円	
介護保険特別会計	29億1,683万円	27億8,453万円	1億3,229万円	
後期高齢者医療特別会計	5億2,517万円	5億1,990万円	526万円	

このような質疑に対する答弁がありました

ふるさと納税業務委託料 338万円
ふるさと納税ホームページ使用料 206万円

問 ふるさと納税事業に対する令和4年度の総括は。

答 前年度と比較し、123%の増だったが、まだまだ計画通りには進んでいない結果であり、今年度もさらなる努力をしながら進めている。

総合公園遊具等設置事業 3,578万円

問 総合公園の遊具が新設され、休日は町外の家族連れも多くなっている。遊具を設置してどのような成果があったのか。

答 小さいお子さんを連れた家族が多くなったという印象で、周辺には、民間の直売所やイチゴ農園があるので、相乗効果を生んでさらなる経済効果等も期待をしている。



多くの子供たちが利用している総合公園の遊具

保育所等副食費無償化 1,241万円

問 副食費の無償化に対する検証は行ったのか。

答 全利用者からアンケート等は取ってはいないが、保護者の方々からは大変ありがたかったという意見も伺っている。

庁舎外壁改修工事調査設計業務委託料 515万円

問 庁舎の設計業務委託料の予定価格の根拠は。

答 埼玉県で使っている設計業務の歩掛かり等を参考に積み上げたもの。



工事が難航している庁舎外壁工事

電子図書館導入事業 960万円

問 電子図書サービスが導入されたが、とても便利である事から、これからも推進を図っていただきたいと思うが如何か。

答 まずはスマホなどを通じて電子図書になれている方がご利用いただけるような施策を今後取っていきたいと考えている。

新型コロナウイルスワクチン接種事業 8,251万円
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 9,515万円

問 コロナ関係に対し、今年になってとてつもなく大きな不正の過大請求を行っていたという業者が次々と報道されているが、本町においてそのような事実はあったのか。

答 当町においては、委託業者においてそのようなことはなかった。

予算決算 常任委員会

令和4年度一般会計及び特別会計決算については予算決算常任委員会に付託し、5日間にわたり慎重審議しました。審議は町政全般多岐にわたり、数多くの質疑がなされました。その中から抜粋してお知らせします。

ファミリー・サポート・センター事業 委託料 145万円

問 令和4年度を終了し、PDCA^{*}を行った中で、改善すべきものはあったのか。

答 周知にもっと力を入れる必要があると考え、令和5年度は、より住民の皆様はこの制度を利用していただくように力を入れて進めている。

※PDCA=計画・実行・検証・行動



中央公民館外壁等改修工事 2,983万円

問 中央公民館の外壁改修工事では、落札価格より五百数十万のお金が必要以上にかかった理由は。

答 目視では確認できなかった細かい部分のタイルの剥離などの部分が発見されたために改めて契約の変更を行った。



きれいに改修工事がなされた中央公民館

令和4年度一般会計決算に対する討論

令和4年度決算に反対します！！

堀江 快治 議員

令和4年度決算には、庁舎外壁改修工事調査設計業務委託料が執行されている。町はこの設計に基づき、庁舎外壁改修工事を実施しているが、着工後すぐに町から工事内容を大幅変更するという説明が行われた。このことは、設計業務並びに町の判断自体が問われているものであり、公金支出の在り方と改善を強く要望して反対する。

長瀬 衛 議員

企業誘致で雇用効果が期待薄、都市計画道路整備の放棄等、将来への施策がない。川角駅整備事業で大学から協定破綻を求められ、約2千万円の財源口スも明らかになった。小・中学校統廃合は住民の決断が必要であり、広く意見交換を聴くべきだ。庁舎外壁の90%に異常はなく、赤レンガタイルを残す部分補修工事に変更すべきだ。

令和4年度決算に賛成します！！

荒木かおる 議員

令和4年度はコロナ禍の中、物価高騰により住民生活に大きな影響が出た1年。本町では国の地方創生臨時交付金を活用し、様々な経済対策を実施。特に子育て世代の経済的支援として保育園副食費、小中学校の給食費を1年間無償化を実施。また若者世代の定住促進事業として奨学金返還支援事業もスタート。町の更なる発展を願う。

平野 隆 議員

令和4年度決算では、地方創生臨時交付金を有効活用して、子育て世帯の経済的支援のために、保育園副食費並びに小中学校給食費無償化事業や、物価高騰対策として水道料金の減免等、きめ細やかに経済的支援を実施したことが認められる。今後も住民サービス向上のために、スピード感を持った行財政運営を期待して賛成する。

9月議会ではこんなことが決まりました

条例の一部改正

子ども家庭庁設置により条例が変わりました

子ども家庭庁の設置に伴い、管轄が厚生労働大臣から内閣総理大臣に移管により、毛呂山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の規定の一部を改正する条例。

※ 民法822条「親権を行う者は、監護および教育に必要な範囲内で、その子を懲戒することができ」が削除されたため、第13条（懲戒に係る権限の濫用禁止）が削除されました。

もろびとの館、指定管理者制度導入へ

滝ノ入住吉農村公園（もろびとの館）を適正で効率的な運営を行うことのできる者を指定管理者とし、平等な農村公園の利用を確保します。

使用料金は1区画
1回 4000円



民間活力でよみがえる
もろびとの館

町道の路線の廃止及び認定

生活福祉常任委員会

町道の路線の廃止及び認定について、9月11日に委員全員が出席し、庁舎内委員会室にて生活福祉常任委員会が開催されました。審議にあたり、現地調査を行い慎重に審議を行いました。採決の結果、全員賛成にて原案のとおり可決すべきものと決しました。

問

近隣には高校があり、学生が多く利用しているが、歩道がなく危険な状況である。また、道路の費用は町と企業のどちらが負担するのか。地権者の承諾は受けているのか。

答

安全対策に関しては、状況を確認しながら勘案し策を打っていく。費用は企業が負担し、開発許可の段階で、地権者や利用者の承諾を得ている。



企業誘致により東部エリアの道路が変わります。

※万円未満切り捨て

区 分		補 正 前	補 正 額	補 正 後
一 般 会 計		109億4,685万円	7億4,808万円	116億9,494万円
特 別 会 計	国民健康保険	37億7,834万円	7,679万円	38億5,513万円
	農業集落排水	4,105万円	21万円	4,127万円
	介護保険	28億9,487万円	1億2,729万円	30億2,217万円

令和5年度補正予算ピックアップ

川角駅周辺地区整備事業



工事が始まった川角駅南側改札口

川角駅は北側改札口を残した上で、東武鉄道が、駅南側に町が実施する駅前広場やアクセス道路等の整備に先行して、駅南側に改札口を新設することになりました。そのため、城西大学との協定書については、双方の合意の上で解除を行い、寄附金を返還する補正予算が可決されました。

返還金 3億5004万5092円

小・中学校の特別教室にエアコンが入ります。体育館への設置は調査検討にはいりました。



小・中学校の体育館は、災害時の避難所になります。

小学校体育館空調設備設置工事設計業務委託料 1227万8千円
 中学校体育館空調設備設置工事設計業務委託料 530万2千円
 小学校特別教室空調設備設置工事費 3944万4千円
 中学校特別教室空調設備設置工事費 4924万7千円

一般会計補正予算に賛成します

荒木 かおる 議員

今回の補正予算では災害時の避難所となる小・中学校6校体育館への空調設備設置工事に伴う設計予算が計上。町が安全・安心なまちづくりに取り組む姿勢が強く感じられる予算。子ども達の教育環境向上の観点からも大変評価できる。今後も災害に強いまちづくりと同時に教育環境の充実により、児童・生徒の健全な育成を願う。

高橋 達夫 議員

町と大学で交わした協定では駅舎の移設と駅前広場・アクセス道路の整備である。町は駅前広場概略設計等で町予算を使っている。協定書5条によればこの額は交渉すべきであるが、今後この事業には大学の協力が不可欠であり、大学側に町が使ったお金がムダ金とならぬよう協力を要請する事で涙を飲んで本補正予算に賛成する。

改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の継続を求める意見書の提出について

議員発議否決!!

意見書の趣旨

改正マイナンバー法が6月2日に成立し、2024年秋には健康保険証を廃止して、「マイナ保険証」に一本化しようとしている。この国策は、以下の理由のように多くの問題を含んでいる。よって、健康保険証の継続を求める意見書を提出する。

意見書作成の理由

- (1) 国民の選択の自由と国民皆保険制度を壊しかねない。
- (2) トラブルの原因究明がなされていない。
- (3) 社会的弱者がカードを取得・更新できない。

よって、国会及び政府においては、改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の継続を強く求める。
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出者 岡野 勉 議員
賛成者 小野 浩 議員
長瀬 衛 議員

反対討論 中村 奨平 議員

我が国は2040年に65歳以上の人口が全体の55%を超える。全国健保組合における平均保険料率は9・3%と過去最高であり、現役世代に重い負担を課してもなお、今年度予算では各健保組合の約8割が赤字、経常収支は約5千億円の赤字見通し。医療制度の効率化を図るために、マイナ保険証の利用を推進して頂きたい。



●議案の審議結果（9月定例会）

○は賛成 ×は反対 討は討論 欠は欠席 議は議長

議案		議員名													審議結果	
		中村 奨平	佐島 啓晋	小野 浩	平野 隆	澤田 巖	佐藤 秀樹	荒木 かおる	千葉 三津子	岡野 勉	小峰 明雄	高橋 達夫	長瀬 衛	堀江 快治	下田 泰章	
決算 認定	一般会計	○	○	○	○討	○	○	○	○	×	○	○	×	×	議	認 定
	国民健康保険特別会計、水道事業会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定
剰余金	毛呂山町水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
一部 改正	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例、毛呂山町農村公園条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	原案可決
補正 予算	一般会計（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	原案可決
	国民健康保険特別会計（第1号）、農業集落排水事業特別会計（第1号）、介護保険特別会計（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	原案可決
人事	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同 意
発議	改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の継続を求める意見書の提出について	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	議	否 決
	町道の路線の廃止、町道の路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決

一般質問

町政を問う!

~13名が登壇~

- 地域防災
- 教育・子育て環境の充実
- ふるさと納税
- 民法改正と越境竹木

小峰 明雄

- 産業廃棄物と認識できる物の処理
- 町の課題解決
- 定年延長への対応
- 教育課題と対策

堀江 快治

- 川角駅周辺整備事業
- 環境問題
- 教育・子育て環境整備

長瀬 衛

- タクシー券と燃料費の選択
- 成年後見人の申立て
- 都市計画税
- 適格請求書等保存方式と町への納入業者の把握

佐島 啓晋

- 予算確保の為の歳出削減
- 少子化対策
- 歴史民俗資料館

中村 奨平

- 小中学校の水泳授業
- 不登校対策

荒木かおる

- 次期もろバス
- 学校図書館整備

千葉三津子

- 小中一貫校
- デマンドタクシー
- マイナンバーカード

小野 浩

- 川角駅南口改札

高橋 達夫

- 川角駅周辺整備事業
- 毛呂山町における介護認定者の状況
- 総合公園における指定管理者制度導入に向けて

佐藤 秀樹

- 今年の猛暑の影響
- 町主催の各種イベント
- 町内の道路

平野 隆

- 交通安全対策
- 道の駅

澤田 巖

- 毛呂山町の学校統廃合
- 有機フッ素化合物PFAS(ピーファス)

岡野 勉

※一般質問の本文は、主な質問と答弁を本人が編集しています。

小学校3校の体育館トイレ改修は

設計業務委託をする予定



小峰 明雄

問 大谷木地区の丸井団地付近、以前に雨水対策工事を実施したが、大規模な対策工事が必要。
答 合流部に溢水防止対策工事を今年度実施する。

問 権現堂地区の林道崖崩れや大谷木地区の地滑り等を鑑みると山間部の崖等の点検は必要。
答 崖等の点検調査を検討。

問 市場地内の小島左官さん前の谷ヶ跨水路の雨水対策は。
答 避難者の生活環境の改善に必要、設計業務委託をする予定。

問 今年度は上流部の堆積土砂の整形や倒木撤去を実施する。
答 妊娠や乳幼児を持つ家庭向けの子育て防災手帳。ご所見は。

問 避難者の特性に合わせた情報発信も必要であると認識する。
答 連続112回目的一般質問。過去にも一般質問した学校図書

問 順次、更新を図っている。
答 地方交付税交付金で措置された額に対する学校図書館図書購入費の割合は。

問 令和4年度普通交付税の基準財政需要額に算入された額に対する決算額の割合は80・5%。
答 民法や道路法等に基づき道路の安全確保に努める。

問 障害のある方ない方が共に暮らすインクルーシブ社会の実現を考える授業は。
答 学ぶ事で心のバリアフリーの、育成に努めている。

問 こども誰でも通園制度ご所見は。
答 重要な施策と認識する。ふるさと納税、総務省は10月から厳格化ご見解は。



トイレ改修は、バリアフリーを視野に入れた改修を

カット野菜等の大量放置/町の説明責任は！

答 県の所管となっており、個別案件なので答えられない



堀江 快治

理 産業廃棄物と認識できる物の処

問 カット野菜の大量放置について、なぜ詳細説明ができないのか。

答 県と町の合同で立入調査を実施し、県が事務を所管することになったもの。

問 憲法21条に基づく国民の知る権利との整合性は。

答 県の所管となっており、個別案件のため答えられない。

問 産業廃棄物の場合はマニフェストの存在が不可欠である。結果として本事業は産業廃棄物と認識してよいか。

答 個別案件のため答えられない。

町の課題解決

問 町長が目指す日本一やさしい町づくりの具体的な形態は。

答 町政運営の基本理念であり、ソフト・ハードの両面から推進していく。

問 今後の少子化対策の方針は。

答 町の最重要課題であり、子育て世帯への経済的負担軽減や子育て環境の充実を推進する。

問 今後の地域経済について。

答 町の歳出予算を町内で循環し、経済的な相乗効果を増加させることが重要。

問 水が枯渇し、草が繁茂している花蓮の現状認識は。

答 拡張工事を実施したが、今後適正管理に努める。

定年延長への対応

問 職務分析が非常に重要であり、実体的効果のあがる体制が不可欠ではないか。

答 ご指摘のとおり職務分析をしっかりと実施する。

教育課題と対策

問 現在、教育基本法における教育の中立性は担保されているのか。

答 政治的中立性を図り、教育行政を推進していく。

川角駅、無駄になった税と反故になった協議会の決定

答 プロセスとして繋がっている



長瀬 衛

問 協議会は「橋上駅」でまもなくだったが、その後「噂の東京マガジン」の放映で東武鉄道と大が動き、南口開設に方針転換した。町長の施政方針は「東武

と協議し、大学と連携した結果

であり、毛呂山町をさらに大きく変える時だ」とあるが、町民に誤解を与える。大学から協定書の破棄を求められ「交渉相手ではない」と東武鉄道から突き

離された。これまで声を上げてきた周辺住民に感謝すべきだ。住民合意の決定を変更するの

ら周辺住民らに説明すべきだ。

答 これまで協議会等メンバー

を得て進めていく。

問 南口改札口は町の事業ではなくなくなった。これまで概略設計費等で約2千万円もの膨大な税が無駄になった。責任の所在を隠さず町民に示すべきだ。

答 駅の特異性を踏まえて東武鉄道らに働きかけた結果だ。プロセスとして繋がっている。

環境問題 県環境管理事務所と町が、

のか。

答 産業廃棄物の可能性があるとということで県が所管となったのでご理解いただきたい。

教育・子育て環境整備

問 10年後の小学校統合から検討すべきだ。

答 小規模校のデメリット解消を考えている。



東武鉄道の事業として南口に改札開設



カット野菜等が大量放置された現場

福祉タクシー券と自動車燃料補助金の選択制の導入

答 様々なサービスとの併用で利便性を図る



佐島 啓晋

問 重度心身障害でタクシー券の利用できない家族を、自動車燃料補助金との選択にすることは出来ないか。また、タクシー利用券の事業者用半券をもう少し

タクシー運営協議会にも伝えるなどして、前向きに検討したい。
問 成年後見制度の需要は高まるか。町が予想されるが、町の計画はどのようになっているか。
答 町内で成年後見制度を利用している方は、214人で飯能家庭裁判所管内の約45%となっている。町の成年後見制度利用促進計画などに基づき制度の利用を促進するために必要な体制の整備を講じていく。
問 都市計画事業の地方債償還残高はどのくらいか。
答 償還金に充当した事業は、平成27年の長瀬駅前野久保線などがあり、残高は6億6282万9千円で、令和12年度に返済完了予定。
問 インボイスの登録業者は把握しているのか。登録していないければ町との取引はできなくなるのか。
答 水道事業、農集特会については仕入税額控除の適用を受けるため、登録事業者の確認をしている。登録がないことをもって取引から排除することは想定していないが、町との取引において混乱を来さぬよう支援に取り組む。

1期目公約町長報酬減額への今の考えは

答 いつまでも報酬削減をする事は難しい



中村 奨平

問 4期合計で退職金含めて約2億4千万円が支払われるが、改めて妥当であるか。考えるか。
答 しっかり仕事を全うする。就任当初の合計特殊出生率

が0・81、昨年から0・75。全く改善されていないが、いかがか。
答 私が町長だからこうなっているのではない。今後も若い夫婦が毛呂山町を選んで頂けるようなまちづくりを行う。
問 東京都では18歳以下の子ども一人当たり毎月5千円を独自給付や、県内自治体でも第2子保育料無料等実施している。本町では若い世代が選択して行く。
答 子育てしやすいまちづくりを行う。その中でも特に教育に力を入れる。
問 トップダウンで少子化対策に取り組んで欲しいか。
答 子育て環境整備を第一に進めていく。来年度予算に期待してほしい。
問 学校行事を除く歴史民俗資料館の年間来場者数及び、人件費を含む年間維持費はいくらか。
答 令和4年度は6980人であり維持費は約5400万円。町では予算不足の為、積極的な少子化対策は行われていない。過去には公立保育園やプールの廃止、さらには小中学校の統廃合も検討されている。歴史民俗資料館も今後継続出来るような独自対策が必要では。
問 鎌倉街道に隣接している立地を活用して、今後の保存活用計画で策定する。
答 子ども課長に伺う。年間5千万円の予算があれば少子化対策に有効であるか。
答 例えば保育料や給食費等無償化を行えるが、歴史民俗資料館も必要である。

町長報酬の減額を実現します。

4年間で1千万円以上の財政効果をうみます!!
 (1期目 井上げんじ公約かわらばんより)

令和4年度 毛呂山町	
財力指数	0.593
経常収支比率	91.90%
令和5年 1月～8月 町内出生数	
	66人

余裕のない町の財政状況



使いやすい様式が希望されるタクシー券

水泳授業、民間プールの活用は可能か

答 調査研究を含め検討して参る



荒木かおる

建設年度と経過年数、老朽化の状況、及び使用可能年数の目安について伺う。

問 近年、老朽化した学校のプールを改修・新設はせず、公営や民間の屋内プールでの水泳指導に切り替える自治体も増えている。小中学校のプール施設の

問 プール施設の建設年度と経過年数については、各校昭和50年台に建設されており、全てのプールが建設から40年以上経過。老朽化の状況はプール槽の塗装劣化や設備機器の不具合などが発生しており、プール授業開始前に修繕を実施している状況。

使用可能年数については、減価償却資産上の耐用年数では、30年とされており、全てのプールが超過している。

問 老朽化が激しい学校プールについて、今後の具体的な在り方について教育委員会の見解は。

答 安全安心な状況下で円滑に水泳授業を実施できるよう、施設整備費や維持管理費の削減が可能となる民間プールの借用など、様々な手法の検討が必要であると考える。

問 不登校対策として多様な学びの場、居場所の確保の観点から、フリースクールとの連携に

ついて考えを伺う。

問 フリースクールは、様々な運営形態で指導内容も児童生徒のニーズに合わせ柔軟に対応している為相談指導・学習支援体制も様々。

問 費用支援の考えは。

答 国や県の動向を踏まえフリースクールの効果等も含めて調査検討して参る。

今後どうなる町民の足！もろバス

答 次期もろバスのさらなる利便性向上に努める



千葉三津子

用でき、便利な移動手段になることは、町民の誰もが望んでいることだと思いが如何か。

問 高齢社会が到来している中で、町内の移動手段として全ての住民ニーズに対応していくことの難しさは十分理解をしているが、次期もろバスが気軽に利

問 町行政において住民の移動手段を支える公共交通の充実は喫緊の課題だ。地域公共交通活性化協議会で検討を重ね次期もろバスの見直し運行開始に向けて取組を進めてまいらる。

問 現在、もろバスでの満車になった場合の対応を伺う。

問 同じルートを走行する後発対応車両により対応している。

問 6月の全員協議会で説明があった次期もろバスの方向性から現在までどの程度見直しの内容が進んでいるのか伺う。

問 住民アンケートの結果、デマンド型よりも現在のもろバス同様の定時定路線型形態の方が多い結果となった為、今まで通りの定時定路線型の運行とする。車両台数を3台から5台に増車し、バス停留所も13か所新設すると同時にフリー降車区間の拡大などにより、利用を希望される方が今まで以上に家の近くか

問 各小中学校における「学校図書館図書標準」の状況と新聞の配備状況を伺う。

問 各小中学校における「学校図書館図書標準」の状況と新聞の配備状況を伺う。

問 本年3月末現在で小学校4校、中学校2校共に標準冊数に対し保有冊数は100%以上の達成率となっている。新聞配備についても埼玉新聞を配備している。

問 デジタル社会到来の中、教育委員会として今後の電子図書の方性を伺う。

問 学校と連携し電子図書の導入に向け検討していく。



予定される停留所の増設（案）



今後の水泳授業、民営プールも検討すべき

小学校4校を残してほしい

答 避難所としての考え第一



小野 浩

問 町長に聴く。指定緊急避難場所でもある小学校の建物を残すのか残さないのか。

答 学校施設が小中一貫校として進んだ時、小学校の公共施設

としての利用について教育部局と各課計画や財政等の関係を勘案し、例えば山根荘も今の場所から平らな町の中心地に近い所に移す必要があるし、サークル活動等の公民館的な利用などいろいろな考えがある。当然、避難所としての考えは第一にある。**問** 教育長に聴く。毛呂山が進もうとしている方向には疑問があるが、どうか。

答 小中一貫教育の効果を一番上げる学校形態を、5年10年後の学校規模も検討して考えていきたい。

問 ドアツードアのデマンドタクシーの導入についての町の見解は。

答 もろバスの運行車両の増台や往復運行の導入、バス停の大幅な新設等により利便性を向上させた定時定路線型のバスとして運行を開始したい。近隣では鳩山町、ときがわ町、川島町がデマンド型の乗合交通を運行している。高齢化が進行する状況下において住民の移動手段を支

える公共交通の充実喫緊の課題であると認識している。

問 マイナカードの保有率は。

答 7月末現在68・7%。

問 トラブルはあるか。

答 トラブルについての報告や町民からの相談はない。

問 紙の保険証の存続は。

答 マイナンバー法の改正により、カードと保険証を一体化したマイナ保険証を推進している。被保険者が混乱を招かないよう、丁寧な対応に努めたい。

川角駅南口改札口新設について

答 東武が大学の資金協力で開設する



高橋 達夫

問 広報もろやま8月号では東武鉄道が城西大学の資金協力を得て、既存改札口を残した上で駅南側に改札口を新設するとあるが詳細の説明を求める。

答 町は東武鉄道と協議を重ねた中、既存の改札口を残した上、駅南側の改札口の開設を働きかけたところ、東武鉄道として駅利用者の利便性向上、地域住民の安全に寄与できるとの判断から東武鉄道の自社施策として城西大学からの資金協力を得て改札口を新設する事になった。**問** 終わり良ければすべてよしということわざもあるが、課長

もこの問題では大変な思いをしている。しかし長い間解決できなかった問題が、東武と大学と話し合ったら簡単に解決している。住民の問題に町が口を挟みかえって難しくしたのではないか。町の根回し、ロビー活動、調査不足など反省点があったのではないか。

答 町はこの事業の解決を急ぎすぎたため、地域住民に対し説明不足があったと感じている。

問 協定書第5条ではこの協定が解除になった場合、出来高に応じ寄附金の返還について協議するとある。町は寄附金受領後

に土地買収や概略設計予算640万円を支出しているが、この点についてはどのように協議したのか。

答 協定では寄附金は駅前広場等建設にも使えることになっているが、町は駅舎移設に多くの予算が必要と考えていたため一般会計から支出した。

問 町は大学に対し大変迷惑をかけたので、その分はいらぬと言ったのか。

答 大学との話し合いで駅舎移設以外はゼロにするとということと合意した。



建設中の川角駅南口改札口



学校は健康と学びを育むところ

今年度中に構想図を作れないのか

答 具体的な構想をお示しする



佐藤 秀樹

問 11月下旬に川角駅南口の改札が完成する予定。前倒しで工事が着手できるように進めなければ町は、東武と城西大学の思いに答えていない事になるがいか

答 事業の進捗を早められるよう様々な検討をして参る。
問 企業と行政の時間の感覚の差がはつきりしている。長年の課題である川角駅南口整備は今は決断の時。今年度中に構想図は作れないのか。
答 具体的な構想をお示しする。毛呂山町における介護認定者の状況

問 在宅介護の現状は。
答 今年3月末時点で在宅サービスを利用している人数は1056人で、前年同月と比較すると4・2%増加している。
問 介護従事者が在宅介護に訪れた際に、特に団地などでは駐車スペースが確保できない事が大きな問題となっているという状況は把握しているのか。
答 やむを得ず訪問先の家の前に駐車せざるを得ない場合があるという事は把握している。
問 訪問先で入浴サービスを行っていたり、ケアの為抱えていたりした時に車の移動を促される

でも対応すること自体が厳しい状況である。例えば、町で空き地を借り上げるとか、作業中の車両に対し特別許可証を発行するとか、迂回用のコインを貸与するとか、町が検討し従事者に指示すべきと思うがいかがか。
答 現状を調査しながら対策を検討していく。
問 総合公園における指定管理者制度導入に向けて
答 今後体育協会をはじめスポーツに関係する団体などとの調整はどうなるのか。
問 町教育委員会が行う。



川角駅周辺整備を早急に進めよ

今年の猛暑の対策は

答 防災無線により注意を促した



平野 隆

問 生活保護及び独居の高齢者への対策は如何か。
答 地域包括支援センターでは水分補給を呼びかけると共に、熱中症パトロールを実施した。

問 熱中症パトロールとは具体的に如何か。
答 熱中症の注意喚起を促す呼びかけを録音したパトロールカーにて、町内を巡回した。
問 小中学校における対策は。
答 熱中症対策ガイドラインに沿った予防を行っている。
問 農産物への影響は如何か。
答 大きな影響は出ていない。
問 町主催の各種イベントについて

問 アフターコロナを迎え、町主催のイベントに変化はあるか。
答 町民レクリエーション大会とスポーツ健康フェアを統合し、新たな町民レクリエーション大会を実施していく。また、ゆずの里ウォークも内容を一新して実施していく。
問 町内の道路について
答 町道に対し、各地域からどのような要望を出されているか。
答 経年劣化した舗装の修繕や雑草の草刈り、水路や側溝に堆積したヘドロの除去など、様々な要望が寄せられているか。
問 どのように対応しているか。

答 優先順位を決め、解決に努めている。
問 町には行き止まり道路がある。町のご所見は。
答 行き止まり道路は、火災時等に緊急車両が通行できないなど、問題があると認識している。必要に応じ通り抜けの為の道路新設を検討している。
問 町の観光対策について
答 歴史的文化財を生かした観光対策、ご所見を伺う。
答 鎌倉街道上道など、歴史民俗資料館とも連携し、調査研究をしてまいる。



庁舎内は快適 (28℃以下)

多死社会は目前、対応策を

行政として出来る事を推進していく



澤田 巖

問 令和4年度の統計で認知症が原因で家を飛び出し行方不明となった方が1万9千人、一週間で大半の方が発見される一方で約500人の方が徘徊中の事

答 令和4年度の統計で認知症が原因で家を飛び出し行方不明となった方が1万9千人、一週間で大半の方が発見される一方で約500人の方が徘徊中の事

問 令和5年8月で20人、地域包括支援センター窓口や「もの忘れ相談会」で案内をしている。介護支援専門員などの専門家の方々に周知している。

答 令和5年8月で20人、地域包括支援センター窓口や「もの忘れ相談会」で案内をしている。介護支援専門員などの専門家の方々に周知している。

問 2030年から約20年は毎年のように年間160万人が亡くなり、1人が産まれ2人が亡くなる時代が数十年続く「多死社会」到来は目前である。町は今後どう対策していくのか。

答 超高齢社会、多死社会や認知症対策は今後の日本の課題だ。認知症は予防と早期診断・早期治療が重要。令和6年度から第9期高齢者総合計画を策定予定。行政だけでは不可能なため医療機関と連携し健康づくりのまち宣言による生活習慣病対策や介護予防等をさらに進めていく。

道の駅

問 地域に経済効果や雇用等をもたらし、災害時には避難所、災害復旧の情報拠点にもなる道の駅、将来的に本町にも必要である。

答 道の駅の効果は絶大であると認識している。大きな予算等が必要であり先進自治体を参考にしていく。



命をつなぐ高齢者等見守りシール交付事業

教育力低下！先生16名が削減される！

町費学校職員は今の所、未定だ



岡野 勉

問 学校統廃合の住民説明会は今年の秋頃と言われた。会場は住民が集いやすい小学校の体育館を希望したが、どうか。

答 小学校体育館を使用・2日

問 町当局から示される統合の計画案は、学校の見取り図(敷地と校舎、体育館、プール、遊具等)と必要財源、人員配置を示すこと。特に、人員配置は町職員も含めはつきり示すこと。

答 計画案を理解いただけるよう資料の提出・説明に努める。

問 4つの小学校を廃校にして先生が削減されたのでは、何の

問 町当局から示される統合の計画案は、学校の見取り図(敷地と校舎、体育館、プール、遊具等)と必要財源、人員配置を示すこと。特に、人員配置は町職員も含めはつきり示すこと。

答 計画案を理解いただけるよう資料の提出・説明に努める。

問 4つの小学校を廃校にして先生が削減されたのでは、何の

問 小学校がなくなり、中学校2校に統合され、教職員がまともなれば学校公務分掌が分担されるので職務が軽減される。

答 小学校がなくなり、中学校2校に統合され、教職員がまともなれば学校公務分掌が分担されるので職務が軽減される。

問 何を言っているのか。理解しがたい。しかし、分かったことがあ。4小学校廃校で中学校2校に統合されると。①3学級減り、先生が8名削減される②校長・教頭が、2名ずつ4名削減される③養護保健室の先生

答 2030年から約20年は毎年のように年間160万人が亡くなり、1人が産まれ2人が亡くなる時代が数十年続く「多死社会」到来は目前である。町は今後どう対策していくのか。

問 超高齢社会、多死社会や認知症対策は今後の日本の課題だ。認知症は予防と早期診断・早期治療が重要。令和6年度から第9期高齢者総合計画を策定予定。行政だけでは不可能なため医療機関と連携し健康づくりのまち宣言による生活習慣病対策や介護予防等をさらに進めていく。

問 道の駅に経済効果や雇用等をもたらし、災害時には避難所、災害復旧の情報拠点にもなる道の駅、将来的に本町にも必要である。

答 道の駅の効果は絶大であると認識している。大きな予算等が必要であり先進自治体を参考にしていく。

問 町費学校職員の人員は今の所、未定だ。

答 町費学校職員の人員は今の所、未定だ。

問 有機フッ素化合物PFAS(ペーファス)が報道されたが、本町は問題ないか。

答 令和3年度から原水の全ての取水箇所を水質検査実施。現状暫定目標値内。



きめ細かな教育を！先生の削減はダメ！

人事

教育委員会委員

瀬山 亜佳子 氏

昭和35年生
毛呂山町大字葛貫



傍聴席

9月定例会傍聴者数	
本会議日	傍聴者数
9月 1日 (金)	0名
9月 4日 (月)	33名
9月 5日 (火)	10名
9月 6日 (水)	26名
9月 8日 (金)	10名
9月20日 (水)	2名
合計	81名

傍聴席ではスマートフォン等の電源を切り、私語等は慎んでください。

毛呂山町議会議員政治倫理条例に基づく 辞退届の提出状況を公表します

毛呂山町議会議員政治倫理条例第5条第3項の規定により、次のとおり辞退届が提出されました。

提出者氏名	件数	提出日
堀江快治	1件	令和5年5月24日

○倫理条例第5条第1項

議員が役員をし、若しくは実質的に経営に携わっている企業又は議員の配偶者若しくは2親等以内の親族が経営している企業は、法第92条の2の規定の趣旨を尊重し、町民に疑惑を持たれないよう、町等との請負契約等を辞退しなければならない。ただし、災害等特別な理由があるときは、この限りでない。

○倫理条例第5条第3項

議員関係企業が第1項の規定により辞退をするときは、関係する議員を通じて議長に辞退届を提出するものとする。

○第5条第1項の規定による「町等との請負契約等を辞退しなければならない」企業に当てはまる条件は以下のとおりです。

- ①工事、業務委託、物品納入等について町等に対して指名（入札）参加願ひ申請並びに小規模事業登録を行っている企業
- ②上記以外で町として購入（取引）の可能性が否定できない企業

（辞退届は議員任期ごとに提出することになっています）

あとかき

今年も残暑が厳しく長い夏でした。昔から日本には四季があり、植物や旬の食べ物などから私たちは季節の移り変わりを楽しんできました。しかし近年地球温暖化の影響で四季が少しずつ変化し春や秋が短くなったと感じているのは私だけではないでしょう。

地球温暖化の原因は人間の活動により二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスが増えてしまったことにあります。

毛呂山町も昨年、山並み連携ゼロカーボンシティ協議会において2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ共同宣言」をしました。未来の環境を守るため、私どもは、食品ロス削減、節電を心がけて参りたいと思います。

荒木かおる

編集委員

委員長 澤田 巖
副委員長 荒木かおる
委員 中村 奨平
佐島 啓晋
小野 浩
佐藤 秀樹

アドバイザー

（議長） 下田 泰章